

和光市立本町小学校保護者様

令和3年度 和光市立本町小学校 学力・学習状況調査結果について

5月に実施した全国学力・学習状況調査（6年生対象）及び埼玉県学力・学習状況調査（4，5，6年生対象）の本校の結果概要についてお知らせいたします。今回の検証結果などを基にし、指導改善に努め、更なる学力向上を図ってまいります。

【国語】

○結果概要

- ・どの学年も平均正答率は良好な結果となりました。
- ・6年生においては、どの学力層の児童も、確実に学力を伸ばしていることが分かりました。（※昨年度は調査を実施しなかったため、学力の伸びについては現6年生が一昨年度実施した4年生のときの結果と比較して、それぞれの児童の学力の伸びがどれくらいあったかをみているものです。）
- ・「情報の扱い方、我が国の言語文化」の領域において、やや苦手としている傾向が見られました。
- ・記述形式の問題について、やや苦手としている傾向が見られました。

○改善策

- ・学力の伸びが順調であるので、現在の指導方針を継続し、学力向上に努める。
- ・辞書の使い方等、学習の中でも使う機会を意識的に増やしていく。
- ・考えていることを文章化する機会を積極的に増やし、作文力の向上に努める。

【算数】

○結果概要

- ・どの学年も平均正答率は良好な結果となりました。
- ・6年生においては、どの学力層の児童も、確実に学力を伸ばしていることが分かりました。
- ・算数の記述形式の問題については、国語と違い、苦手としている傾向はみられませんでした。
- ・どの学年も領域や観点、形式を問わず、バランスの良い良好な結果となりましたが、すべての問題で良好だったのではなく、苦手傾向がある単体の問題は散見されました。苦手傾向がある問題の関連性はみられませんでした。

○改善策

- ・学力の伸びが順調であるので、現在の指導方針を継続し、学力向上に努める。
- ・それぞれの学年で苦手傾向があった問題を振り返る機会を設ける。

【質問紙】

○結果概要と考察

- ・「自分には、よいところがある。」「難しいことでも失敗を恐れず挑戦している。」や、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。」「人の役に立つ人間になりたいと思う。」と思っている児童が、平均よりも多くいました。自己有用感が高い児童が増えてきていると考えています。
- ・学校全体として、「基本的な生活習慣が身についている。」「ルール等を守る気持ちが強い。」に関する質問項目は、平均より多い傾向にありました。これらのことから家庭の教育力が高いと考えています。また、「進学意識はやや強いが将来の職業についての意識はやや希薄。」といった大まかな傾向も見られました。